

お知らせ

提供資料先 鳥取県政記者クラブ
倉吉記者クラブ

小鴨川で昔の河原の再生を目指します！

～ 第4回「小鴨川河川整備懇談会」を開催します～

天神川水系は昭和40年代までは河原が多く見られた河川でしたが、現在では樹木等の繁茂によって、砂レキの河原に生息する動植物が減少や河川景観の喪失が課題となっています。

そこで天神川水系の昔の河原を再生することによって、河川内の樹林化を抑制し、天神川固有の生態系の再生や河川景観を復元することを目指して、平成19年度より小鴨川中流域（8～9k）において河原再生の試験整備を行っています。

この河原再生の試験整備は、「小鴨川河川整備懇談会」において学識経験者や地元の方の意見をお聴きしながら行っており、このたび、河原再生の方向性を検討する第4回を下記のとおり開催します。

今回は、試験整備箇所の現地視察実施後、モニタリング結果報告、河原が維持可能な掘削形状及び今後の掘削方針について検討を行います。

記

日時：平成22年3月8日（月）13：30～16：30

場所：集合（13:30）

倉吉市上小鴨公民館 第二会議室

現地視察（13:30～14:20）

小鴨川礫河原試験整備箇所（反土橋上下流）

会議（14:30～16:30）

倉吉市上小鴨公民館 第二会議室

（場所については別紙参照）

その他：報道機関関係者の方は取材を行う場合は、会社名、氏名の記入をお願いします。なお、写真・テレビ等の撮影は冒頭のみとします。

お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所

HPアドレス<http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/>

副所長（技術） おおいけ 大池 かつのり 勝則

調査設計第一課長 すがの 菅野 ひではる 秀治

電話 0858-26-6221（代表）

天神川水系にかつて存在した河原の再生を目指します。



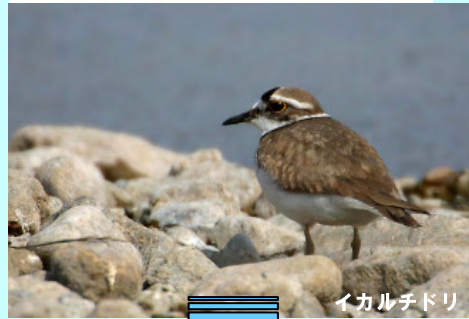
昭和40年以前の小鴨川の様子

現在の課題

樹林化の進行



河原固有の動植物の減少



イカルチドリ

親水性の低下



【河原の再生】

- ・河川内樹林化の抑制
- ・河川景観の復元
- ・河原固有の生態系の再生



H21.12.22状況写真

○平成19～20年度に掘削形状や掘削高さ等を変えて試験整備を行いました。

○モニタリング結果を整理し、礫河原が維持可能な掘削形状などの検討を行い、今後の河川整備・維持管理に反映します。

小鴨川河川整備懇談会 委員名簿

区分	役職	氏名
委 員	鳥取市立逢坂小学校 校長	安藤 重敏
	鳥取短期大学 非常勤講師	國本 洸紀
	鳥取大学地域学部 教授	鶴崎 展巨
	(※) 鳥取大学大学院工学研究科 教授	檜谷 治
	倉吉市緑を育て守る審議会 会長	森本 満喜夫
	天神川漁業協同組合長	山崎 賀津雄
	日本野鳥の会 鳥取県支部 役員	谷口 真一
	上小鴨地域づくり協議会 会長	向井 弘志
	上小鴨地区自治公民館協議会 会長	海地 清
	上小鴨公民館長	太田 正史
	行政委員	倉吉市建設部長
国土交通省倉吉河川国道事務所長		日野 和弘

((※):委員長 順不同、敬称略)

会場案内図

別紙

